

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業  
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	50
学校名	富山県立高岡支援学校

学校の現状と課題	本校が対象とする知的障害のある児童生徒は、一般的な発達に遅れがあり、自分の健康や清潔についての関心や意欲が低い傾向にある。しかし、新型コロナウイルス感染防止対策が学校運営上、重要課題となっている今、児童生徒が新しい生活様式についての知識や技能を身に付けることができるよう、指導、支援の必要があると考える。そこで、日常生活の指導において清潔・衛生について取り上げ、児童生徒が病気の予防や健康管理の重要性に気付き、主体的に自分の健康について考え、正しく実践しようとする力を身に付けるようにしたいと考える。	
テーマ(特色)	自分の健康や清潔・衛生について主体的に取り組むための指導・支援	
設定した「テーマ」の達成状況	知的障害のある児童生徒が生涯を通じて健康を保持するためには、手洗いにに関する基本的な知識を理解し、正しい手洗いができるようになることは大変重要であり、昨今の感染症の問題により、さらに緊急性が高まったと考えた。手洗い指導はこれまでも主に日常生活の指導、自立活動の時間に行ってきたが、より知的障害の個々の特性に応じた指導・支援が必要であると考え、見通し、興味・関心、視覚的支援、継続等にポイントを置いて指導・支援を行った。手洗いの手順が確認できる「手洗いチェック表(10項目)」で6月と11月に評価して「(洗うことが)できる項目」が一つ以上増えた児童生徒が137名で全体の88%であった。 「手洗い歌」「手洗い動画」の提示は楽しく手洗いする活動となり、さらに手洗いチェッカーで自分の手洗いについての課題を視覚的に理解できたことで、進んで丁寧に洗おうとする姿が見られるようになった。	
実施内容(具体的に記入する)	○手洗いチェック表を用いた手洗いスキルの向上 ・日常生活の指導の時間や、各学級での指導において「手洗いチェック表」を用いて手洗いの手順を確認した。チェック項目(10項目)の中から一つでもできる項目を増やすことを達成目標として行った。 ○手洗いチェッカーを用いた手洗い指導 ・各学級で手洗いチェッカーを用いて洗い残しがないかチェックした。手洗い「チェッカー記録票(手のイラスト)」に洗い残しがある部分に色を塗ってその場所を意識して洗うことを促した。 ○保健給食委員会によるマスク着用、手洗い、換気等の呼びかけ ・ポスターを制作し、校内に掲示して感染症予防のために手洗いが有効であることを伝えたり、月初めに手洗い週間を設定し校内放送で手洗いを呼び掛けた。 ○保護者との連携 ・「手洗いチェッカー記録票」を家庭に持ち帰って保護者に確認してもらい、連絡帳をとおして家庭と個々に応じた手洗いについて情報共有した。	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	・児童生徒の手洗いの実態については、授業前後、給食前、トイレの後等学校生活の手洗いの場面を観察することで大まかに把握していたが、「手洗いチェック表」を用いて評価することにより、どの手洗い動作ができていて、どの手洗い動作が課題になるのかが明確にされた。動作の順番や詳細については「手洗い歌」「手洗い動画」で提示すると意欲的に手洗いに取り組み、楽しんで手洗いの練習に取り組むようになった。 ・また手洗いチェッカーを用いて洗い残しを確認し、「手洗いチェッカー記録票」に記して視覚化することで、洗い残しやすすぎ箇所が具体的に明らかにされた。このことで、手洗いにに関する課題が児童生徒本人に伝わりやすくなった。洗い残しがあることが分かったことで、洗い方を考えて必ず石鹸を付けるようになったり、汚れている箇所を何度もこすったりと洗い方を自分から変えようとする児童生徒の姿が見られるようになった。 知的障害のある児童生徒の個に応じた手洗いの指導は、これまで、手添えや言葉掛け等で継続して行ってきたが、このように、個々の児童生徒がどの箇所をどのような動作で洗えば綺麗になるのかという手洗いにに関する個々の目標が明らかにされることで、正しい手洗いの仕方の習得を目指して主体的に取り組もうとする児童生徒が増えたと思われる。 また、家庭に「手洗いチェッカー記録票」を持ち帰り、連絡帳のコメントと合わせて手洗いの実態を家庭に伝えて共通理解を図り、家庭でも正しい手洗いができるよう言葉掛けをお願いした。 集団での手洗い指導では、保健委員会の活動として月初めに設定した手洗い週間中に、手洗いのポイントの一つ挙げそれを放送で呼びかけて継続的に取り組むことができるようにした。放送を聞き、学級単位で友達と一緒に取り組むことで意欲を高め手を洗う回数が増えたのではないかとと思われる。 全校で同様の手洗いチェック表を用いることで、手洗いにに関する個々の実態を次年度の担当者に引き継ぐことができるようになった。来年度も継続して指導・支援を行っていきたい。	
対象者(学年・人数など)	全校児童生徒(小学部・中学部・高等部)218名	
実施実績	4月	テーマの設定、計画
	5月	
	6月	「手洗いチェック表」で実態把握 手洗いチェッカー等の購入と教材の作成
	7月	指導実践、保健給食委員会による健康を守ることにに関する啓発活動
	8月	指導実践、保健給食委員会による健康を守ることにに関する啓発活動
	9月	指導実践、保健給食委員会による健康を守ることにに関する啓発活動
	10月	指導実践、保健給食委員会による健康を守ることにに関する啓発活動
	11月	「手洗いチェック表」で評価
	12月	指導実践、保健給食委員会による健康を守ることにに関する啓発活動
	1月	指導実践、保健給食委員会による健康を守ることにに関する啓発活動
2月	指導実践、保健給食委員会による健康を守ることにに関する啓発活動	
3月	「手洗いチェック表」で評価 次年度担任への引継ぎ準備	